

# グリーンアドベンチャー 『<sup>じゅひ</sup>樹皮<sup>みわ</sup>で見分けよう』

(<sup>ほんかん</sup>本館・<sup>もり</sup>ブナの森コース)

- <sup>じゅひ</sup>樹皮<sup>とくちよう</sup>にどんな特徴があるのか見てみよう！
- 私たちの生活とその木にどんなつながりがあるのかを<sup>し</sup>知ろう！

## <本館・ブナの森コース地図>



かいとうようし  
○解答用紙

ばんごう 番号	しょくぶつめい 植物名	じゅひ 樹皮 (A~O)
32		
71		
3		
1		
5		
18		
6		
23		
19		
25		
24		
26		
29		
35		
34		

○解答

番号	植物名	樹皮 (A~O)
32	イタヤカエデ	L
71	モミ	E
3	ハウチワカエデ	B
1	オオヤマザクラ	J
5	コナラ	H
18	ケンポナシ	F
6	ブナ	M
23	アスナロ	O
19	カラマツ	C
25	ヒノキ	G
24	ウダイカンバ	N
26	ミズキ	I
29	ハリウツギ	A
35	ヤマナラシ	D
34	リョウブ	K

以下樹皮カードになります。  
自然の家でも樹皮カードを貸出していますので  
打ち合わせ時などにお知らせください。

じゅひ

# 樹皮カード

(本館・ブナの森コース)



## ＜解答の仕方＞

1. 番号札の裏にある木の名前を書きましょう。
2. 樹皮カードから同じ樹皮を探してアルファベットを書きましょう。

## ＜注意＞

- 届かないところにある札は、木の名前が見えるようになって  
います。無理に札をめくろうとしないでください。
- 樹皮や葉を取らないでください。
- 道に迷ったら、わかるところまで戻りましょう。



<sup>じゅひ</sup> <sup>うちがわ</sup>  
樹皮の内側には、ねばりけがあり、<sup>わし</sup>和紙を  
つくるときの「のり」として使われていて、  
<sup>ゆらい</sup>  
名前の由来にもなっている。



**B**



秋になると葉が赤やオレンジ、黄色などに  
こうよう  
紅葉する。

葉の形が天狗の持つうちわに似ていること  
から名前がつけられた。



C



つよ たてもん どだい つか  
水に強く建物の土台やガードレールに使わ  
れている。

ゆいいつらくよう は お  
日本で唯一落葉する(冬になると葉が落ち  
る)マツ科の一種。

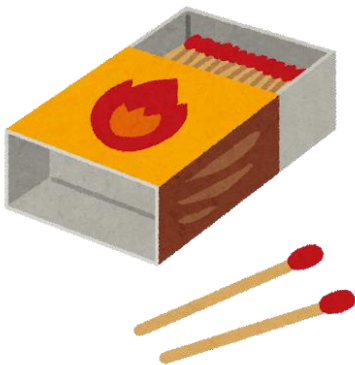


D



は  
葉がぶつかりあうと音が聞こえることから  
名前がつけられた。

きばこ                      じく      りよう  
木箱やマッチの軸に利用されている。



E



クリスマスツリーの木として使われている。

とお みどり は  
1年を通して緑色の葉がついているのが

とくちょう  
特徴。

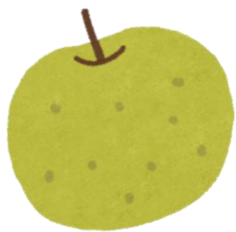


F



かじつ あじ  
**果実を食べるとナシのような味がすること**  
**から名前がつけられた。**

しゃみせん がっき ちょうこく ざいりょう りょう  
**三味線などの楽器や彫刻の材料にも利用**  
**されている。**



G



大きくなると高さが30mにもなる。

じょうぶ                      てら    じんじゃ    つか  
丈夫なためお寺や神社に使われてきた。

かお                      ふ    ろ                      つか  
また、香りがよく、お風呂にも使われる。





2cmくらいの小さなどんぐりになる。

こもの ざいりょう まき すみ  
おもちゃや小物の材料、薪や炭としても

つか  
使われている。





「だんご木」として知られている。

ね す はるさき えだ  
根から水を吸い上げる力が強く、春先に枝  
きを切ると水がしたたり落ちることから名前がつ  
けられた。



J



さむ とうほく ほっかいどう おお  
寒さに強く、東北や北海道に多く見られ、

こ さ  
濃いピンク色の花を咲かせる。

あきたけん でんとうこうげいひん かばざいく  
秋田県の伝統工芸品である「樺細工」に

つか  
使われている。



K



<sup>じゅひ</sup> 樹皮がうろこのようにはがれるのが<sup>とくちょう</sup>特徴。

<sup>わかめ</sup> 若い芽や花の穂は<sup>ほしょくよう</sup>食用になり、<sup>ききん</sup>飢饉

(<sup>のうさくもつ</sup> 米などの農作物があまり育たず、<sup>そだ</sup> 食べ物が  
<sup>た</sup> 足りなくなること)の時に<sup>とき</sup>貴重な<sup>きちょう</sup>食糧<sup>しょくりょう</sup>となっ  
ていた。

L



つか  
ピアノやテニスのラケットに使われている。

じゅえき  
樹液はメープルシロップになる。



M



<sup>み</sup> <sup>どうぶつ</sup> <sup>この</sup>  
実はリスなどの動物が好んで食べる。

<sup>えいようほうふ</sup> <sup>しょくよう</sup> <sup>とうゆ</sup> <sup>しょくようあぶら</sup>  
栄養豊富で食用にもなり、灯油や食用油

<sup>つか</sup>  
にも使うことができる。



N



じゅひ ゆぶん おお  
樹皮には油分が多くふくまれ、雨の中でも  
も たいまつ つか  
燃えることから松明に使われていた。





じょうぶ                      じんじゃ                      てら      つか  
丈夫なため、神社やお寺に使われてきた。

は                                      なら  
葉はうろこのように並んでいてつやがあり、

うらがわ                                      とくちょう  
裏側が白くなっているのが特徴。

